

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザが引き続き警報レベルです

感染症発生動向調査で、熊本市の第7週(2月13日～2月19日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週23.52人 ➡ 今週24.72人(定点数25ヶ所、患者報告数前週588人 ➡ 今週618人)と前週から増加しました、引き続き感染予防に努めましょう。

●感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)に引き続き注意して下さい

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。

◆どんな病気？

- ・症状……吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

●流行性耳下腺炎が増えています

ムンプスウイルスによる感染症で、小児や学童期に多い病気です。「おたふくかぜ」や「ムンプス」とも呼ばれます。

◆どんな病気？

- ・症状……唾液腺(耳下腺、顎下腺、舌下腺)の腫れ・痛み、発熱などが1～2週間続きます。
- ・潜伏期間…2～3週間。発症数日前から感染力があります。
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染です。感染しても症状の出ない場合(不顕性感染)も多いと言われています。
- ・流行期……毎年、地域的な流行がみられ、3～4年周期で増減を繰り返しています。



いずれの感染予防にも手洗いが有効です。
 流行期には人混みを避け、帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。

期 間		平成29年 第6週		平成29年 第7週	
		2/6～2/12		2/13～2/19	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		588	23.52	618	24.72
RSウイルス感染症		4	0.25	4	0.25
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	2.56	37	2.31
感染性胃腸炎		98	6.13	91	5.69
水痘(みずぼうそう)		9	0.56	3	0.19
手足口病		15	0.94	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		7	0.44	6	0.38
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		2	0.13	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		7	0.44	26	1.63
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		11	2.20	10	2.00
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	2	0.40